

平成 27 年度 第 3 回蕨市健康づくり推進会議 会議録（概要）

日時	平成 28 年 3 月 22 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時
会場	蕨市保健センター 2 階 健康教育室
出席委員	（敬称略）
	吉岡 幸子（会長）、白根 雅之、 山本 眞由美（田中 義枝 委員代理）、庄野 孝子、岡村 増美、石川 とみ子、 植田 富美子、元田 繰美、池田 睦、藤川 昌弘、加山 千恵子
欠席委員	（敬称略）
	金子 健二（会長代理）、庄 喬、野崎 淳子
事務局	
	部長：関 久徳 所長：石丸 岳広 保健指導係長：小林 桂子 保健師：高橋 律子 保健師：横山 早百合 保健師：清水 佳代 保健師：影澤 由美子 栄養士：泉谷 祐希
会議次第	
	1. 開会 2. 議題 1) 平成 27 年度事業報告について 2) 平成 28 年度事業予定について 3) その他 3. 閉会
資料	
	平成 27 年度 第 3 回蕨市健康づくり推進会議 次第 「わらび健康アップ計画」平成 27 年度事業報告 健康長寿に係る先進的な取組事例（概要版） 「わらび健康アップ計画」平成 28 年度事業予定

内容

【傍聴希望について】

本日傍聴希望者なし。

【会長挨拶】

【議題】

(1) 平成 27 年度事業報告について事務局より説明。

会 長：ご意見・ご質問等あればご発言いただきたい。

委 員：試しにアップステーションを利用してみた。銀行に何も用事がないと少々行きづらいつと感じた。親切に対応していただき、スムーズに 2 週間貸出し利用することができた。普段の歩行は中強度まで満たないことが実感でき、モニターにならずとも気軽に行ける環境があり良いと感じた。

会 長：アップステーションの利用者数や活動量計の購入金額はどうなっているか。

事務局：モニターの方とトライアルの方で半々くらいの利用と聞いている。購入については、7 千円位と案内している。活動量計については、思ったより簡単な操作であった、励みになる、着けていると自然と中強度の運動をトータル 20 分になるよう意識し動くことが良い、中強度 20 分は思ったほど大変な運動ではなかったとの感想があった。

会 長：健康意識が高まる良い取り組みと感じる。

委 員：銀行も開けた場所になってきていると感じた。銀行も良い取り組みなので継続してくれるのではないかと思う。取り組みの評価について途中経過であるので今後まとめたものを公表してほしい。

事務局：健康情報紙や広報に結果について掲載予定である。

会 長：来なかった人へのアプローチも期待したい。

(2) 平成 28 年度事業予定について事務局より説明。

会 長：健康長寿モデル事業に取り組みながら新規事業を計画し周知等大変だったかと思う。母子保健計画については豊かな子育てにつながるようにとの市の思いが感じられた。

委 員：実施期間は 7 月から予定とのことだが、60 歳代以上が多く、熱中症などのリスクがあり時期の検討は可能であるか。

事務局：評価として医療費の分析に時間を要するため 12 月までの期間となった。リスクに注意をしながら安全面に配慮し実施したい。

委 員：市は機会をたくさん設定してくれている。どんなに機会があっても本人の動機づけが難しく実行にまで至らないのではと感じる。

委 員：ゲートキーパーの取り組みについて詳しく聞きたい。

事務局：「ゲートキーパー」という言葉自体が新しい言葉なので広めていくところからになると思う。平成 28 年度は講演会という形で多くの方に聞いていただきたいと思っている。

会 長：命を失うということは多くの方が傷つき多大な影響があることである。とても大切な命なので丁寧に取り組んでいただきたい。

委 員：父子手帳は既存のものを配布かまたは独自に作成して配布予定か。

事務局：まずは既存のものを利用予定である。その後には活用状況をみながら検討していきたい

と考えている。

会 長：イクメンになるためには本人の意識だけではなく職場の理解など他の面も大きいと感じている。市がイクメン講座を実施し本人の気持ちを高めることは重要な取り組みである。

委 員：20歳の歯科検診の受診率は11.6%であるが、良いか悪いかを考えるのではなく、新規事業であり、継続することが受診率の向上につながるため経過を見ていく必要がある。

委 員：健康アップ計画の南町の取り組みについて、実際に南町に住んでいるので、案が決定したら声をかけていただきたい。

(3) その他

会 長：その他として何かあるか。

事務局：特にない。

委 員：特にない。